

## 排出実態調査結果等から考察される課題

### 2015 年国勢調査 (新宿区新宿自治創造研究所レポートより)

- ・人口は 2000 年以降増加傾向にある。
- ・高齢者（65 歳以上）人口の割合が上昇し、20.1%となっている。
- ・外国人の割合が 9.2%となっている。
- ・単身世帯の増加が著しく、64.9%となっている。
- ・高齢者の 3 人に 1 人が一人暮らし。
- ・若年層は流動性が高い。2013 年に転出した 20～24 歳の 8 割以上が新宿区の居住期間が 3 年未満。

### 資源・ごみ排出実態調査

- ・家庭ごみの組成分析調査から、燃やすごみでは厨芥類が 32.7%、紙類が 20.7%で、53.4%を占めている。
- ・区が収集する事業系ごみのうち、飲食業では、燃やすごみの 9 割が厨芥類。
- ・単身者集合住宅地区での資源物混入割合が高い。
- ・世帯人数別の家庭ごみの 1 人当たりの排出量は、単身世帯が一番多い。
- ・区が収集する事業所アンケートで、処理費用が安くなれば民間処理業者へ移行できる可能性がある事業者が 40.7%。

- 食品ロスの削減（家庭・事業系）
  - 1-1 ごみ発生抑制(リデュース)に推進
  
- 紙類の削減
  - 2-2 現行の資源回収の徹底
  
- 事業者の自己処理責任の徹底
  - 3-2 事業系ごみの減量と資源化の推進
  
- 外国人、少数世帯、若年層への普及啓発
  - 4-1 ごみの適正な分別の徹底